

17 番 松野 清春 議 員

1 人口減少対策について

- (1) 鹿屋市の人口は合併当時の 10 万 7 千人から約 1 万人減少しているが、その主な要因は何だと考えるか。
- (2) 人口減少対策として子育て支援がある。鹿屋市は 18 歳までの医療費の無償化、学校給食の無償化、0 歳児から 2 歳児までを含む保育料の無償化を実現してきたが、他にはどのような具体的な施策が考えられるのか。
- (3) 移住定住促進策も有力な政策の一つであるが、鹿屋市独自の具体的な施策はないのか。
- (4) 定住するには雇用が必要である。企業誘致ができればそこで働く人の確保が必要となる。企業誘致がある一方で企業の縮小や撤退も見受けられる。もっと積極的に具体的な企業誘致はできないのか。
- (5) 鹿屋市の基幹産業である農業が後継者不足で就業者数が減少している。農業で生活できるよう、国に対して農畜産物の価格保証制度の意見書・要望書などは提出できないか。

2 湯遊ランドあいらについて

- (1) 先日 of 新聞報道で湯遊ランドの指定管理に関して、817 万円の補償を行うとあったが、その算定根拠は何か。
- (2) 昨年度の赤字が約 1,000 万円と報告があったが、この赤字については全く想定できなかったのか。年度途中で経営改善についてアドバイス等はできなかったのか。また、同じ市営のさくら温泉とのノウハウの共有化はできなかったのか。
- (3) 今年度から高齢者の入浴料金が 60 円上がり、来年度も 60 円上がる予定であるが、これらによる収益改善をどの程度見込んでいるのか。
- (4) 今年度以降も赤字が見込まれる場合、補償する考えなのか。指定管理制度についてどのように考えるか。
- (5) 管理運営について鹿屋市と指定管理者及び利用者との三者協議による運営は考えられないか。